



災害から命を守るために備えましょう

初夏から秋にかけては水害が発生しやすい季節です。水害はまだ大丈夫と思っても、急激に状況が変化する場合があります。危険が迫ってからでは手遅れになることもありますので、異変を感じたらすぐに対応できるよう日頃から準備をしておきましょう。

災害に備えた事前確認

①避難所・緊急時避難場所や危険箇所の確認

自宅からの避難所・緊急時避難場所や周辺の危険箇所について、ハザードマップなどで事前に確認しましょう。また、避難する経路の安全確保も重要です。

②自宅での安全確保

自宅での安全が確保できる場合は、在宅避難を検討しましょう(2階以上へ垂直避難)。ただし、自宅での安全が確保されていないにもかかわらず、新型コロナウイルス感染拡大を恐れて避難することをためらわないように注意してください。

③避難する場所の検討

市が指定した避難所・緊急時避難場所だけでなく、災害の危険がない市外の親戚や友人・知人の家などへの避難も検討してください。避難所・緊急時避難場所が密集・密接状態になることを防ぐためにも検討しましょう。

④衛生管理に必要な物資などの避難所への持参

避難所では衛生用品を十分確保することが難しくなります。新型コロナウイルス感染防止や健康の観点から避難所へ携行する物(食料や水など)に下記のものも加えて持参してください。

- ・マスク(タオルなど)
- ・体温計
- ・アルコール消毒液
- ・ティッシュ、ペーパータオル、ウエットティッシュ
- ・ポリ袋
- ・常備薬
- ・スリッパ
- ・着替え
- ・つめ切り など



⑤緊急時避難場所に必要な物資などの持参

一時的に命を守る緊急時避難場所は、屋上など屋外のところが多くあります。雨具や防寒対策となる資材についても非常持出袋へ準備し、避難の際は携行しましょう。

- ・雨具(傘、雨がっぱ)
- ・防寒用具(防寒アルミシート、使い捨てカイロ) など

自分の住んでいる場所が避難の必要がある場所か確認する

市では、国、県、気象庁と連携をとり、気象情報に注視しながら、命の危険が及ぶ場合には、いち早く避難情報(警戒レベル3以上)を発令し、皆さんに避難をお願いします。

避難情報を発令した場合には、市内の避難所を随時開設しますが、自宅の2階以上への避難(垂直避難)も大変有効となります。

弥富市が発令する避難情報

令和3年5月から従来使用されてきた「避難勧告」が廃止され「避難指示」に統一されました。気象庁および市が発令する避難情報につきましては、以下の表のとおりとなります。

警戒レベル (洪水・土砂災害)	状況	市民の行動	避難行動を促す情報
警戒 レベル 5 <small>既に災害が発生している 状況です</small>	災害が発生 または切迫	命の危険、 直ちに安全確保	緊急安全確保
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~			
警戒 レベル 4	災害発生の 恐れが高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
警戒 レベル 3	災害発生の 恐れがある	危険な場所から 高齢者らは避難	高齢者など避難
警戒 レベル 2	気象状況悪化	避難に備え、 ハザードマップにより 自らの避難行動を確認	洪水注意報、 大雨注意報など
警戒 レベル 1	今後気象状況 悪化の恐れ	最新情報に 注意するなど 災害への心構えを 高める	早期注意情報 (警報級の可能性)

市が、災害の恐れがあり避難が必要と判断した場合は、避難情報(警戒レベル3以上)を発令し、防災行政無線、携帯電話の緊急速報メール、弥富市安全・防災メールなどを通じて市民の皆さんにお伝えいたします。

避難情報(警戒レベル3以上)が発令される前でも、自主的に判断して、早めの避難を心がけましょう。

## 避難のために考えておきましょう

### ◎自主避難

自主避難所に関しては、原則、飲料水、食料品、日用品、寝具などの提供を行いません。各自の判断で食料、飲料水、携帯ラジオ、着替えなど、最低限の必要品を用意して避難してください。

